

# 近代英語協会ニュースレター

2010年(平成22年)6月25日

近代英語協会事務局

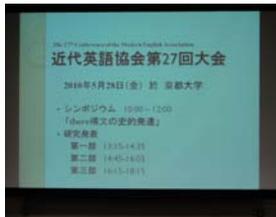
〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1

広島女学院大学大学院言語文化研究科 英米言語文化専攻米倉研究室内

協会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/mea/index.html>

(電話: 082-228-0386(大代表) 振替口座 00810-9-5821)

## 1 近代英語協会第27回大会について



去る5月28日(金)に、京都大学附属図書館3階 ライブラリーホールにおいて開催され、3名の講師によるシンポジウム「there 構文の史的発達」、7件の研究発表が行われました。発表者と司会者の皆様、お疲れさまでした。聴衆の皆様、熱心にご清聴くださり、また、貴重なコメントや質問をお寄せくださり、誠にありがとうございました。

39名の方が出席された懇親会では、学問的話題に花が咲き、瞬く間に90分が過ぎゆきました。

今大会の参加者数は72名でした。調べのついた過去8年間の参加者数は次の表のとおりですが、特別講演が含まれていた大会(\*付の年)以外は70名程度に落ち着いています。どうか会員の皆様には、今後も万障お繰り合わせの上ご出席を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。(表の下段に懇親会参加者数も示しておきました。)

2003*	2004*	2005	2006
約100	約100	約70	72
50	50	約50	約30
2007*	2008*	2009*	2010
84	約100	約80	72
32	45	25	39

なお、開催校の家入葉子先生には、開催校決定以来大変お世話さまになりました。ここに厚く御礼を申し上げます。

## 2 第28回大会について

次回大会は、日本英文学会大会(於北九州市立大学、北九州市小倉南区)前日の2011年5月20日(金)、福岡女子大学(〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘

1-1-1)にて開催予定です。開催校の向井毅先生には大変お世話さまになります。

シンポジウムは、「近代英語期文学作品における文体の通時的考察—社会的・心理的視点からのアプローチ(仮題)」というテーマの下、岡山大学准教授 脇本恭子先生に司会をしていただく予定です。講師は目下ご依頼中とのことで、詳細はニュースレター冬号でお知らせします。

個人研究発表の締め切りは2011年1月31日(月)となっております。発表をご希望の方は、300字程度の要旨に氏名・所属・職位・略歴・連絡先(住所、電話番号、e-mailアドレス)を添えて、下記宛てにお申し込み下さい。

電子ファイル(MSWordの添付ファイルにて)

[nakamura@for.aichi-pu.ac.jp](mailto:nakamura@for.aichi-pu.ac.jp)

打ち出し原稿(特殊文字なくば不要)

〒480-1198

愛知県愛知郡長久手町大字熊張

字茨ヶ廻間 1522-3

愛知県立大学外国語学部

中村不二夫

## 3 理事の交替について

2010年3月31日付で、大門正幸氏、澤田治美氏、中村不二夫氏が離任されました。2011年3月31日付で橋本功氏、馬場彰氏が離任されます。長きにわたり、協会の運営にご尽力いただきありがとうございました。

これを受け、理事会では、新たに家入葉子氏(京都大学)、田中智之氏(名古屋大学)、中尾佳行氏(広島大学)、藤原保明氏(聖徳大学)、松原史典氏(高知大学)を選出し、ご本人からご快諾をいただきました。協会創設30周年を含む2011年4月1日からの2期4年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 4 『近代英語研究』第26号の発行について

第26号は予定どおり刊行され、大会ご出席の会員の方々には当日お渡しいたしました。当日ご欠席の

会員の方々には、このニューズレターとともに同封申し上げました。

例年は、協会誌とニューズレターを別々にお届けしておりますが、30周年に向け僅かでも出費を抑えたいと考え、このような方法をとらせていただきました。どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

## 5 『近代英語研究』第27号の原稿募集について

第27号(2011年5月発行)の投稿締め切りは2010年9月15日(水)となっております。奮ってご応募ください。審査は匿名で行われます。応募要領は、協会ホームページ左下「出版物」の中の「投稿要領」をご覧ください。応募原稿、同電子ファイルの送付先は次のとおりです。

電子ファイル

hideshi.ohno@gmail.com

打ち出し原稿

〒712-8505

倉敷市連島町西之浦 2640 番地

倉敷芸術科学大学産業科学技術学部

大野英志

## 6 近代英語協会最優秀新人賞ならびに優秀学術奨励賞について



旧「新人賞」「佳作」は、それぞれ「最優秀新人賞」「優秀学術奨励賞」に名称が改められています。若手による当該年度の掲載論文の中から、前者は特に秀でていた論文に、後者は、最優秀新人賞には至らないが将来性を感じさせ優れていると評価された論文に与える方式に変わっています。論文応募の際、「執筆者情報ファイル」の該当欄に(√)をご記入いただくだけで結構です。

▼選考対象論文 選考対象は、協会誌への掲載が可となった、投稿締切日時点で37歳以下の、または修士号取得後10年以内の執筆者による論文のうち、原稿応募時に事務局編集幹事からの問い合わせに対し賞の選考を希望する意思が表明されていた論文に限ります。

▲受賞者に授与されるもの 最優秀新人賞には表彰状と記念品が、優秀学術奨励賞には表彰状が授与されます。

◆受賞重複の禁止 各賞の受賞は、それぞれ1回限りとします。

♣会員への告知 総会、夏号ニューズレター、協会ホームページにおいて告知されます。掲載論文が発行された翌年、総会において授賞式が行われ、その荣誉が讃えられます。

## 7 論文投稿・研究発表応募に関するお願い

編集委員会から、英文チェックを受けていると思えない原稿がここ数年増えてきているので周知徹底してほしい旨の依頼がありました。『近代英語研究』投稿規定に明記されておりますように、英語論文については、英語を母語としない投稿者は投稿前に必ずネイティブ・スピーカーによる原稿のチェックを受けた上でご応募ください。

学会誌への二重投稿、研究発表への二重応募は絶対にお止めください。

## 8 『近代英語研究』バックナンバーについて

第21号以前の協会誌バックナンバーをご希望の方は、送料着払いにて無料配布いたします。返信用封筒に住所氏名をお書きの上、希望する号数を明記し、事務局分室までお申し込み下さい。過年度号の目次は協会ホームページに出ています。まずは、在庫があるかどうかを電子メールにてお問い合わせ下さい。

## 9 寄贈図書について

協会は寄贈図書をご辞退申し上げておりますので、悪しからずご了承ください。

## 10 会費納入のお願い

昨年度の会費納入率は、76.7% (253名中194名)でした。決して健全な状況にあるとは申せません。そこで、本年6月18日時点での、今年度を含む過去4年間の会費納入状況を別紙にてお知らせいたしましたので、未納の方は、協会の円滑な運営のため、会費をお納めくださいますようお願い申し上げます。2002年に、「過去3年間会費未納の会員を自然退会とみなす」ことが決まっていますので、ご注意ください。会費は理事10,000円、一般5,000円、学生3,000円です。同封の振込用紙にてお支払い下さいますようお願いいたします。なお、別紙が封入されていない方は、全納の方です。

以上

お問い合わせは、nakamura@for.aichi-pu.ac.jp  
へお願いいたします。